

儲かる仕組みにチューニングし、変革していくために 形骸化させない品質マネジメントシステム運用の勘どころ 実践講座

せっかく認証取得したのに審査登録だけではもったいない。売上げアップやコストダウン等、企業が求めているゴールや目標に貢献できるようにシステムを改善するポイントを探ります。

◆開催要領◆

●日 時● 2017年 7月 14日(金) 13:00~16:30

●会 場● 「企業研究会セミナールーム」(東京・麹町) 東京メトロ麹町駅より徒歩5分

ご発表者 H2Lab. 代表 (元富士フイルム(株)環境・品質マネジメント部技術担当部長) 原 博 氏

【ご略歴】1972年富士写真フイルム入社。「写ルンです」開発、生産、品質保証に従事後、本社CSR推進部環境・品質マネジメント部で統合マネジメントシステムの構築・運用を担当。現在はH2Lab. 代表として各社の品質及び統合マネジメントシステムの構築・運用を支援。

ご発表者 MS2i 代表 (元コニカミノルタ(株)環境経営・品質推進部品質経営グループ課長) 一柳 高人 氏

【ご略歴】1978年小西六写真工業入社。品質保証部門および開発部門でITE 機器製品安全・EMC 対策設計・認証取得業務に従事。2002年品質マネジメントシステム担当。コニカミノルタ経営統合後、コニカミノルタ統合品質マネジメントシステムの構築・運用を担当。現在はMS2i 代表として、事業一体・顧客密着型品質QMSをツールとしたシステム構築・運用支援業務を行っている

●受講料 ●1名(税込み、資料代 含む)

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

| | |
|-----|----------------------|
| 正会員 | 32,400円(本体価格30,000円) |
| 一般 | 35,640円(本体価格33,000円) |

申込書 FAX: 03-5215-0951

| | | | |
|-------------|------------|-----------------------|--|
| 171218-1111 | 2017.07.14 | 形骸化させない品質マネジメントシステム運用 | |
| ふりがな 会社名 | | | |
| 住所 | 〒 | | |
| TEL | FAX | | |
| ふりがな ご氏名 | 所 属 役 職 | | |
| E-Mail | | | |
| ふりがな ご氏名 | 所 属 役 職 | | |
| E-Mail | | | |

■参加要領

申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからお申し込みいただけます。後日、(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送りします。

- *よくあるご質問(FAQ)は当会ホームページにてご確認ください。([公開セミナー] → [よくあるご質問])
- *お申込後のキャンセルはお受けしかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理の方のご出席をお願いいたします。
- *最少催行人数に満たない場合には、中止とさせて頂く事もありますので、ご了承下さい。

■お申込・お問合せ先

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局
(担当) 鈴木 E-mail: a-suzuki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3513 FAX: 03-5215-0951

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。
※申込書をご送信いただく際は、FAX 番号をお間違えないようご注意ください。

7月14日(金)

於：東京・麹町「企業研究会セミナールーム」

【開催にあたって】

我々は、改訂された ISO9001:2015 とどの様に向き合い、どのように運用すべきなのでしょうか。第1部では、H2Lab. 代表（元富士フイルム）原博氏をお招きし、「経営視点から儲かる仕組みにチューニングしたマネジメントシステムに変革していく」ための総論解説をして頂きます。第2部では、MS2i 代表（元コニカミノルタ）一柳高人氏をお招きし、リスクマネジメントの運用方法を含めた「利益を生み出す仕組みとしての事業一体・顧客密着型品質マネジメントシステム」についてご紹介頂きます。

【第1部】 儲かる！品質マネジメントシステムの徹底研究と運用～ISO9001:2015の活用～ 13:00 ～ 14:50

我々は、改訂された ISO9001:2015 とどの様に向き合い、どのように運用すべきなのでしょうか。「経営視点からのマネジメントを指向し、マネジメントシステムを儲かる仕組みにチューニングし、変革していく」にはどうしたらいいのか。

その考え方のヒントを皆様と検討していきます。



1. ISO9001：2015 改訂のポイント
2. 経営視点からの品質マネジメントシステム
業務に密着し、成果を出すためのマネジメントシステムを考えます。
3. マネジメントシステムの統合
統合マネジメントシステムを具体的な事例で紹介します。

H2Lab. 代表（元富士フイルム(株)環境・品質マネジメント部技術担当部長）

原 博 氏

【第2部】 利益を生み出す仕組みとしての 事業一体・顧客密着型品質マネジメントシステム

15:00 ～ 16:30

1. QMS ポジショニングマップ

せっかく認証取得したのだから、審査登録だけではもったいない。売上げアップやコストダウン等、企業が求めているゴールや目標に貢献できるようシステムを改善して行きましょう。

2. 事業一体・顧客密着型 QMS とは？

事業と QMS がバラバラになっていませんか？ QMS のためのムダな業務はありませんか？ QMS をスリム化し、お客様に満足を感じていただくための組織の活動を考えます。

3. 現状認識からプロセスアプローチへの転換

ISO9001：2015 年版が求めている“プロセス・アプローチ”とはどんなものなのでしょうか？ 現状の“規格要求事項プロセス”から“事業一体型プロセス”への転換の手順を説明します。

4. プロセスアプローチの事例

様々な事業におけるプロセスアプローチの事例を紹介します。

5. リスクマネジメントのプロセスへの組み込み

“事業レベルのリスク”と“プロセスレベルのリスク”について考え方を整理し、内部・外部課題の認識から“リスクおよび機会への取り組み”への展開方法を説明します。

6. まとめ

MS2i 代表（元コニカミノルタ(株) 環境経営・品質推進部 品質経営グループ 課長）

一柳 高人 氏

